



看護補助者の紹介

こども病院の看護補助者について紹介します。病院によっては看護助手やナースエイドとも呼ばれます。看護補助者は、資格をもつ看護師のように注射や採血などの医療行為はできませんが、患者さんのとっても身近なところで仕事をしています。一部ですが業務を紹介します。

【外来】



在宅医療ケアを必要とされる患者さんの在宅物品の準備や譲渡、在庫管理は重要かつ必須の役割です

🌸 今日体調ばっちり!! 頑張ります!! 🌸



消耗品の補充や管理も重要です



身長・体重・血圧などの諸計測では直接患者さんと関わります

【病棟】



病棟では配膳や食事の介助、おやつ配膳準備を担当します

3時間ごとのミルクの準備は赤ちゃんによって量や種類が違うので、間違わないように真剣です



高額な医療機器の返却と受け取りは慎重に!

新型コロナウイルス感染症の対策で重要な環境整備や感染対策物品の補充なども看護補助者が担当しています。患者さんが安全・安楽に入院生活が送れるよう医療チームの一員として頑張ります!

Concept コンセプト

●基本理念

周産期・小児医療の総合施設として、母とこどもの高度専門医療を通じて、親と地域社会と一体になってこどもたちの健やかな成長を目指します。

●基本方針

1. 患者の権利を尊重した医療の実践
2. 安全・安心と信頼の医療の遂行
3. 高度に専門化されたチーム医療の推進
4. 地域の医療・保健・福祉・教育機関との連携
5. 親とこどもが一体となった治療の推進
6. こどもへの愛とまことに満ちた医療人の育成
7. 医療ボランティアとの協調による患者サービスの向上
8. 継続的な高度専門医療提供のための経営の効率化



編集後記

東京オリンピック・パラリンピックが閉会を迎え長い夏が終わりました。私も今年はスポーツの秋を楽しんでみようかな?と思っています。皆さんは芸術の秋、読書の秋、どのような秋を過ごされますか。げんきカエルでは役立つ情報や新しい話題をお届けできるように努めて参ります。(T.K)

委員長：貝藤裕史
副委員長：大津雅秀 上西美奈子
委員：深江登志子 黒田隆二
林卓郎 粟田香奈子
井口秀子 寺田朝子
大原晴子 中村直子
琉隼人 時克志
石原奈央子 近藤由敬
笹井邦彦 東川果央

〒650-0047
神戸市中央区港島南町1丁目6-7
TEL. 078-945-7300
FAX. 078-302-1023
http://www.hyogo-kodomo-hosp.com/
e-mail:info_kch@hp.pref.hyogo.jp

03病P2-005A4

げんきカエル



兵庫県立こども病院
ニュースレター



令和3年(2021) 10月1日

「夏祭りを思い出の1つに」



入院中の子どもたちが楽しめる「夏祭り」を今年も開催しました!



昨年と同じように、栄養管理課とコラボレーションしてプレイルームで行いました。

夏祭りの参加チケットを持ってプレイルーム

にやってきた子どもたちは、1組ずつ「わなげコーナー」「ヨーヨーつり」でゲームを楽しんだ後、甘い香りにつられて「わたがしコーナー」に行き、かわいい袋に入ったできたてのわたがしをもらって病室に帰って食べました。

栄養管理課のスタッフが目の前でわたがしを作っているのを見て、子どもたちは目をキラキラさせていました。

「わなげコーナー」では、的に入れるのが難しいと、コーナー担当の保育士が的を近づけてくれるので、どの子どもも1つは輪を入れることができました。的に入った時は「やった!」と喜ぶ姿が見られました。

「ヨーヨーつり」では、何個もつれるので幼児も学

童児もじっくり楽しむことができました。ヨーヨーつりができない子どもには、ヨーヨーや鈴などを触って遊ぶことができるおもちゃを用意しました。ヨーヨー



の感触や鈴の音を聞いて楽しむ姿がみられました。中には、ヨーヨーを浮かべている容器の水が気持ちよくて、ヨーヨーをつることよりも水に触って遊び込む微笑ましい子どもの姿もありました。

病室やベッドから離れることができず「夏祭り」に参加できなかった子どもには、後から保育士がヨーヨーのおみやげを持って行きました。自分で選んだり、家族に選んでもらったりしたヨーヨーは、点滴台や車いすに飾られていました。



新型コロナウイルスの感染は予断を許さない状況が続いていますが、来年も「夏祭り」が開催できますように。

保育士 中村 伊藤 奥田 加藤 田中
中舎 馬場 坂東 藤井

本誌に関するご感想・ご希望・ご質問はこちらまで



兵庫県立こども病院
HYOGO PREFECTURAL
KOBÉ
CHILDREN'S
HOSPITAL

『まさかの三つ子誕生』



北原 智子

『3人目が欲しい!』40歳になり、最後の出産と夫婦で相談して決めた家族計画。二人の子供に恵まれ、その間2度の流産を経験し、それでも沸々とわいた3人目節。高齢出産、リスクも覚悟していた矢先の妊娠に胸が踊った。地元の産婦人科で『三つ子ちゃんやね!間違いなく!』と、まさかの返答。3人目のつもりがまさか『3人もいる!』なんて!詳しく見てもらう必要があり、こども病院で診察していただく事になりました。

こども病院では高齢出産である事や、三つ子出産のリスク、取り分け3人は一絨毛膜三羊膜という胎盤1つに3人がくっついているリスクが大きい妊娠である事、既に多量の出血があり流産の兆候がある事等、かなりのリスクがあると説明を受けました。最後の妊娠、リスクを考えるとダメかもしれない…。しかし、先生方に頼って妊娠継続をお願いしました。

三つ子妊娠は、今までの妊娠とはなにもかも異なりました。経産婦の事もあり、妊娠16週で入院し、膣を縛る手術をし、投薬治療で流産、早産を管理する事になり長期入院になりました。

『出来れば肺が出来上がる28週までもたせたい!』大きくなるお腹に命を感じつつも、状態が落ち

着かず出血やお腹の張りが続き、副作用とも戦いながらの日々、不安がないかといえは嘘になりますが、それをサポートして下さる看護師や先生方のお陰もあり、なんとか持ちこたえる日々でした。

そんな中、26週で前駆陣痛が始まり、急遽帝王切開にて、出産する事になりました。看護師さんや麻酔医の先生から、『大丈夫だよ!』とずっと優しく声をかけて手を握って励ましていただき、手術の不安を和らげていただき本当に心が救われました。無事に産まれてくれるのか、小さくても産声が聞けるのか、色々な想いが交じる中、予定日より3ヶ月も早くに生まれた我が子は854g,748g,746gの超低体重児で誕生しました。小さな小さな産声を上げて、必死に産まれてきた事を知らせてくれました。出産してすぐには顔を見る事ができなかったのですが、翌日NICUに子供達の顔を見に行くと、保育器に入った小さな小さな赤ん坊に、こんなにも小さな体でよく生まれてくれたと胸が熱くなりました。

出生から2年経ち、今では超低体重児で生まれた事を忘れるほど元気に活発に成長しています。こども病院の医師、看護師の皆様、関わって下さった全ての皆様に心より感謝申し上げます。



予防接種の正しい情報で自分と大切な人を守る

感染症内科 部長 笠井 正志

新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいきます。現在使われているのは、ファイザーやモデルナのワクチン(メッセンジャー RNAワクチン; mRNAワクチン)です。このmRNAワクチンは大変有効性は高く、優れているのですが、多少やっかいな副反応があります。それが疼痛など局所反応と発熱などの全身反応です。要は腕が痛くて、熱が出てまあまあ辛いです。これらの頻度と強さはインフルエンザワクチンの10倍くらい(著者実感)です。mRNAワクチンが筋肉内に接種されると、接種部位とその近くのリンパ節で免疫細胞に取り込まれ炎症反応を起こします。ワクチンそのものが直で免疫細胞を刺激するために、割と強い反応を起こしてしまうのです。そして他のウイルス感染症と同じように、そのウイルスを排除しようと発熱するのです。発熱はウイルスが感染した結果であり、体が正常に反応している証拠です。「熱が出て安心だね」です。もちろん強い反応ほど強い免疫がつく、逆に副反応が弱いと免疫がついてないということはありませんので、出なくても十分免疫はついていきますのでご安心ください。

このmRNAワクチンには医学的な副反応の他に

も、デマという社会的な副反応が出現していて、いろいろ物議をかもしているようです。少しネットを開いてみますと、不妊や自閉症などのワクチンデマ定番のものから、遺伝情報の書き換えから、マイクロチップで監視されるや磁石が体にくっつくまであります。すごい想像力です。医学的にはすべて否定されていますので、信頼できる情報源から正しい情報を得てください。正しい情報源として、全国各地に予防接種センターという公的機関があります。当院は兵庫県予防接種センターの機能を県から委託され運営しています。メンバーは当院の予防接種に関わる多職種で構成されています(写真)。予防接種に関する相談業務や他の医療機関では接種困難事例への対応を積極的に行っています。さらに重要な業務として教育啓発活動があります。年に一回県内外の予防接種に関係する職種に向けて、予防接種基礎講座を開催してきました。今年度も開催します。ホームページなどで広報しますので、ご関心ある関係者の方はぜひご参加ください。感染症や予防接種に関する正しい知識という「ワクチン」でご自身と大切な人を一緒に守っていきましょう。



<写真>2021年度 兵庫県立こども病院予防接種センター運営委員会メンバー